



太陽っ子

かしこく
やさしく
たくましく

第14号

令和5年2月27日

大野小学校

文責 上原

春よこい

本年度も、残すところあと一ヶ月ほどとなりました。三月もすぐそこまで来ていますが、まだまだ寒い日が続いています。特に朝は気温も低く、子どもたちが登校してくる時間帯は、交通指導をしていても、足下が冷たく感じます。

そんな中、先日は、「九州北部地方に春一番が吹いた」というニュースがありました。学校の梅の木に目をやると、たくさんのお花が咲いています。

また、学級園や花壇には、園芸委員会の子どもたちや担当の先生方が中心になって育て、各学級で植えた色とりどりの花が咲いています。春は、確実に近づいています。



季節の分かれ目

二月の全校集会では、「節分」について話をしました。

「節分」には、季節を分けるという意味があり、春夏秋冬それぞれの季節の分かれ目をさします。しかし、現在は、立春の前日を「節分」と言うことが多いです。

節分には、「オニは外、福は内」と豆まきをするお家もあると思います。ところで、オニや福とは、どんなものでしょう。



あきらめオニ、いらいらオニ、なまけオニ…。誰にでも、ひとつやふたつは「自分の中の変えたいところ」があります。心の中のオニを追い出し、代わりに福を招き入れ、大きく育てて欲しいと思います。季節の行事も一つの節目として、成長につながられるといいですね。

ありがとうございました

先日の授業参観、PTA総会、学級懇談会には、お忙しい中にもかかわらずの保護者の皆様にご出席いただきありがとうございました。



お子さんの学習の様子はいかがだったでしょうか。今回が、本年度最後の授業参観でした。性に関する指導や個人やグループで発表したクラスもありました。県の新型コロナウイルススリスクレベルを考慮した参観方法となり、ご不便をおかけしました。ご協力いただきありがとうございました。

また、PTA総会では、次年度の役員の皆様の承認もありましたし、学級懇談会では、学級の様子や一年間子どもたちの成長などについてお話しさせていただきました。次年度の学級委員さんについても話し合っていました。大変お世話になりました。

みんな笑顔の学校に

学校は、子どもたちが笑顔で登校し、安心して友達と学習したり、活動したりする場所でありたいと考えています。

十二月の「心のアンケート」では、多くの児童が「学校が楽しい」と回答しています。しかし中には、友だちと過ごす中で悩んだり、困ったり、嫌な思いをしたりしている子どももいます。定期的にアンケート（たまにゃんチェック）も実施し、「嫌なことを言われた。友だちとうまくいかない。」など、子どもたちからの訴えや相談には、丁寧に対応していますが、言葉にできずにきつい思いを抱えている子がいるかもしれません。

子どもたちが一緒に勉強したり、活動したりする中では、互いの考えや意見が衝突したり、トラブルになったりすることもあります。それらの経験を通して、社会性や友だちとの関係づくりを身につけていく面もあります。子どもたちの成長と笑顔につながる指導を心がけ、みんなが笑顔で過ごせる学校・学級を子どもたちと一緒に創っていききたいと思います。